

# ぎふ農業協同組合

## 「地域・ひと・もの」づくりからの農業振興

### 《目次》

沿革・あゆみ	P 1
管内各地域の特徴と特産物	P 2
概要	
機構図	P 3
営農指導体制	
産直施設と販売高実績	P 4
事業方針(営農部門)	
「元気になれる農業」の実現を目指して…	P 5
地域づくり	
ひとづくり	P 6
ものづくり	
取組活動事例	P 7

JAぎふ  
イメージキャラクター  
みのっ木



## ◇沿革・あゆみ

昭和38年9月、岐阜市内24の農協が合併して誕生した岐阜市農業協同組合は、めまぐるしく環境が変化する中、地域の金融・経済機関として多面的な活動を展開し、地域の皆様とともに歩んできました。

平成元年4月に北長森農業協同組合、平成10年4月にJA長良川と合併し、岐阜市内1つのJAを実現しました。

また平成20年4月に、「信頼・安心・健全・貢献・人材・挑戦」の経営理念のもと、JAぎふ、JAかかみがはら、JAはしま、JA岐阜南、JAもとす、JAぎふきたの岐阜地域6JAが合併し、新生「JAぎふ」として、新たな船出をいたしました。

食の安全と地域の環境保護に軸足を置いた地域営農振興の実践、健全で強靱な経営の確立、組合員をはじめ地域社会から必要とされる組織の構築を目指しています。

。



## ◇管内各地域の特色と特産物

●岐阜地域→岐阜県の県庁所在地であり、都市近郊地域。信長ゆかりの地でもある。  
【主な農産物：岐阜枝豆・守口大根・島ごぼう・千石豆など】



●各務原地域→全国でも有数のにんじんの産地で、生産者と消費者が混在した都市近郊地域。  
【主な農産物：にんじん・大根・さといもなど】



●岐阜南地域→都市化が非常に進んでいる地域で、小規模農家が多い、徳田ねぎの産地。  
【主な農産物：徳田ねぎなど】



●羽島地域→新幹線の駅やICがある、岐阜県の表玄関で、田園地域が広がっている。  
【主な農産物：ハツシモ(米)・れんこん・銀杏など】



●本巣地域→都市近郊地域から中山間地域までがあり標高差のある、富有柿発祥の地。  
【主な農産物：柿・梨・いちご・まくわうりなど】



●岐阜北地域→田園地域と中山間地域が占める、澄んだ空気と水が存在する利平栗発祥の地。  
【主な農産物：栗・お茶など】



## ◇概要

### ・組合員数

(単位：人、団体)

区分	平成23年度	平成24年度	増減
正組合員	32,036	31,608	▲428
個人	31,958	31,529	▲429
法人	78	79	1
准組合員	60,171	61,706	1,535
個人	59,930	61,467	1,537
法人	241	239	▲2
合計	92,207	93,314	1,107

・職員数 1,050人(男:681人 女:369人)

・購買品供給高 8,995,116千円

・販売品販売高 9,359,503千円

・貯金残高 827,459,550千円

・貸出金残高 200,005,994千円

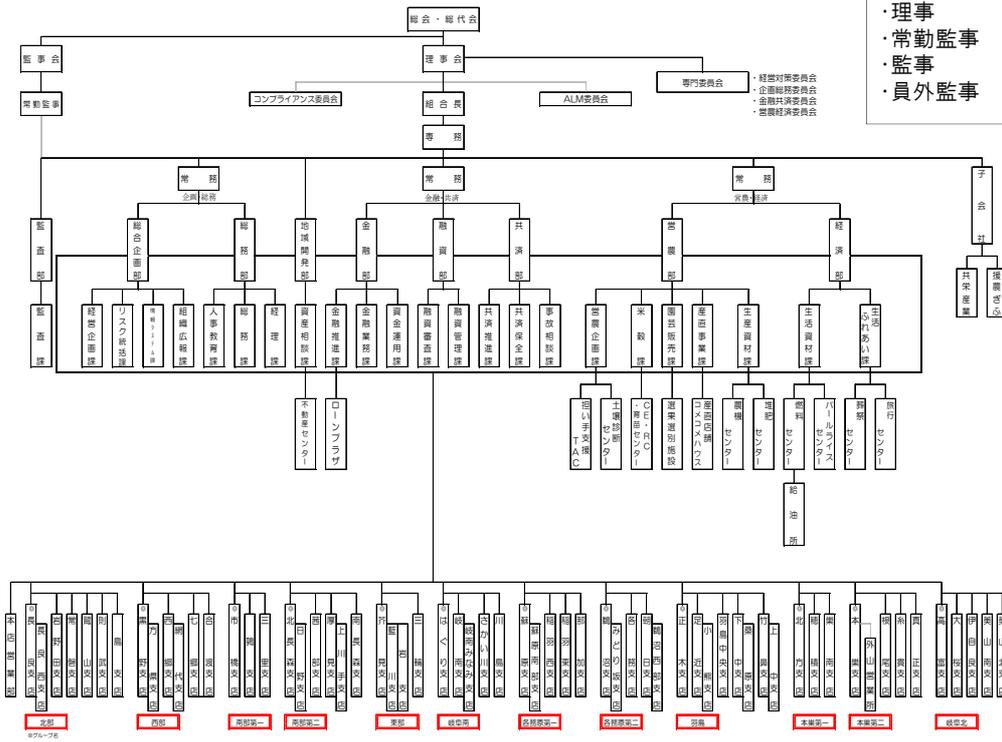
・共済保有高 2,507,649,380千円 (平成24年度実績より)



# ◇機構図

《役員構成》

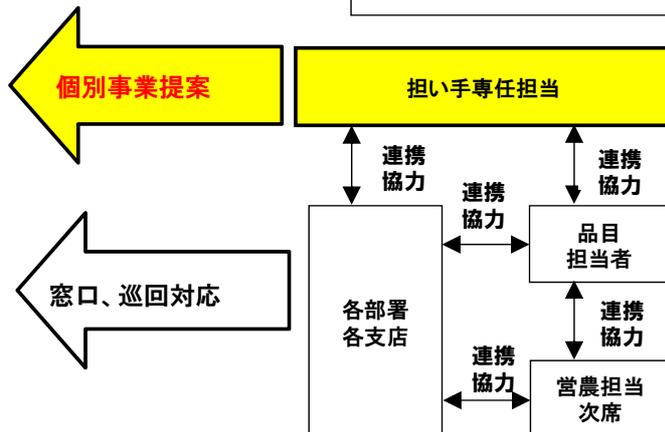
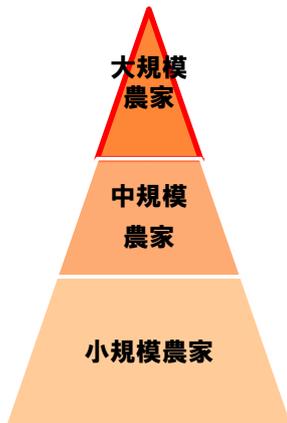
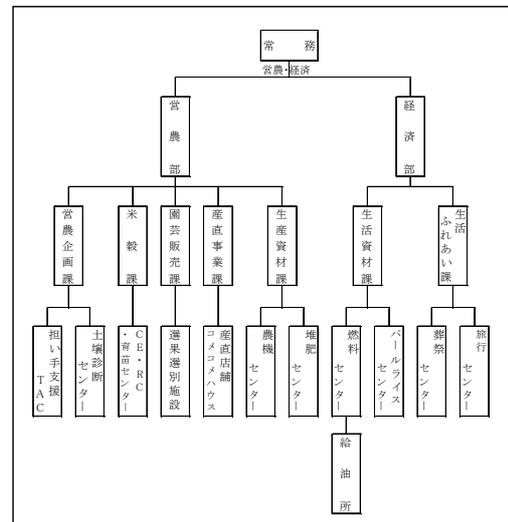
- ・代表理事組合長 1名
- ・専務理事 1名
- ・常務理事 35名
- ・理事 3名
- ・常勤監事 1名
- ・監事 6名
- ・員外監事 1名



©はグループ統括支店

# ◇営農指導体制

- ・担い手専任担当(3名)通称TAC  
個別農家対応、経営指導支援
- ・品目担当者(7名)  
品目技術指導・面積拡大・新たな販売展開
- ・営農担当次席(12名)  
地域農業振興計画・実践・地区営農インストラクター
- ・支店担当(78名)
- ・本店対応(営農部76名・経済部72名担い手・品目担当含む)



## ◇産直施設と販売高実績



### ★産直施設

・店舗数 **15店舗**

おんさい広場(鷲山・はぐり・真正)・糸貫販売所・コメハウス・菜々の里

フレッシュマート(芥見・茜部・北長森)・グリーンセンター(三輪・さかい川・かわしま・羽島中央・高富・黒野)

・出荷登録者数 **2,791名** (平成26年1月末)

・販売額 **1,875,795千円** (平成24年実績)

### ★販売品販売高実績

(単位：千円)

品目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
集荷食糧	米	1,095,529	1,525,210	1,404,481	1,889,404
	麦	27,501	29,164	40,603	25,104
	計	1,223,030	1,554,374	1,445,084	1,914,509
園芸	大根	233,507	248,437	207,689	230,026
	にんじん	350,218	385,392	335,687	356,824
	枝豆	742,418	664,992	688,824	627,295
	ほうれんそう	365,050	338,631	395,052	342,941
	柿	846,945	720,827	819,556	735,444
	いちご	685,935	762,398	780,317	786,206
	その他園芸	693,937	691,172	692,153	702,100
計	3,918,010	3,811,849	3,919,278	3,780,836	
畜産	肉牛	667,845	635,890	637,647	861,086
	肉豚	531,790	649,857	638,352	656,383
	鶏卵	80,191	136,780	48,927	12,569
	その他畜産	437,764	328,053	289,415	258,325
	計	1,717,590	1,750,580	1,614,341	1,788,363
産直品	1,481,399	1,605,934	1,746,824	1,875,795	
合計	8,340,029	8,722,737	8,725,527	9,359,503	

(注) 買取販売は、取扱がありません。



## ★事業方針(営農部門)



**新たな販売展開の強化!**

→ 農家が儲かる仕組み作り!

**販売から生産へ!**

★地域内消費へ向けた販売強化

★売れる農産物生産の提案

★付加価値を高めた農産物加工提案

★地産地消米の生産・販売拡大



## ◇「元気になれる農業」の実現を目指して…

### ★生産者

安心して生産できる体制

→農地の有効活用(面的集積)

→加工取組み(規格外利用)



### ★消費者

安全安心な農産物の提供

→新たな販売戦略の策定

→商工との連携強化



**関係の構築**

(JA=パイプ役)

《地消地産》



JAぎふの柱！！

**『地域・ひと・もの』づくりからの農業振興！**



## ◇地域づくり

組合員との語りあいから、

**“地域農業ビジョンの作成”**

農業の現状

⇒ 高齢化・後継者不足・農地の縮小etc

実践

### ★ 農地利用集積円滑化事業

地域ごとのゾーニング

⇒ 効率の良い土地利用提案

### ★ 食農教育

地域性を取り入れた取組み

⇒ 稲作・園芸作物・餅つきなど

### ★ 特産品作り ～ブランド化～

ブロッコリー・えだまめ・里いも

にんにく・アスパラ・ごぼう…

### ★ 加工品作り



地域としてどのように  
農地・農業を守る？



## ◇ひとづくり



生産者の高齢化  
後継者不足

課題…

「多様な担い手作り」!!

### ①集落営農など水田農家の育成

各地域の水田農業を健全に維持・発展させるため、行政と一体となり農地の有効利用・効率的な利用、農地保全等に必要な情報交換や研修・実践活動を行い、担い手の連携・育成に努める活動。

### ②作物別組織の育成

消費者に安全・安心を提供するために、岐阜クリーン農業の実施、GAP（工程管理）の実施を積極的に産地に推進するとともに、農業施設の整備や産地とタイアップして販売先の見直し等を実施するなど、農業者の所得向上に努め、地域に適した農産物の提案等の農業振興活動。

### ③新規就農を目指す者への支援

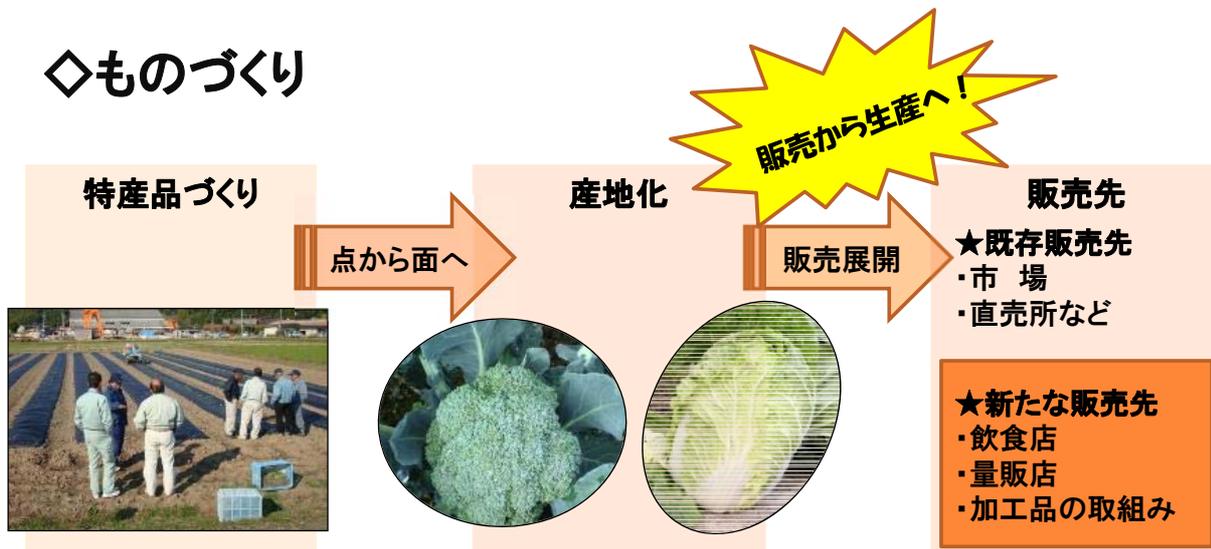
全農岐阜イチゴ研修施設、JAぎふインターンシップ制度の活用により、平成21年度から毎年新規就農者を育成している。就農後については、品目担当者による技術指導支援と専任担当者による農業経営支援活動があります。

### ④多様な農業者への支援

定年帰農者などの多様な農業者支援として、園芸塾などの栽培講習会を開催し地域農業振興につなげる活動。



## ◇ものづくり



- ★地域内消費へ向けた販売強化
- ★売れる農産物生産の提案
- ★付加価値を高めた農産物加工提案
- ★「美濃・飛騨やさい」プロジェクト



## ◇取組活動実践事例(米販売力強化)

### ・米販売力強化

#### 概要

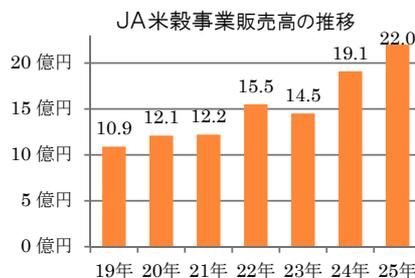
- ・市況価格と連動させた非共計による米の買取方式と共計方式の選択
- ・農家の高齢化が進む中、労力軽減を図るため、フレコン出荷体制を整備
- ・担い手専任担当(TAC)を活用した農家への丁寧な説明対応により、農家の信頼を獲得

#### 内容

- 1 市況価格と連動した非共計価格の設定
- 2 フレコン出荷による農家の労力軽減
- 3 買入代金精算の迅速化

#### 成果

- ・集荷率、農協買取量が大幅アップ
- ・フレコン出荷率がアップ



	23年度	24年度	25年度
生産量①	387,500俵	387,000俵	383,300俵
全集荷量②	111,040俵	124,255俵	139,387俵
うち農協買取量	13,622俵	34,685俵	39,144俵
集荷率(②/①)	28.7%	32.1%	36.3%

	23年度	24年度	25年度
フレコン出荷量	1,293俵	3,006俵	7,722俵
飼料用米出荷量	3,280俵	4,251俵	1,681俵
非主食用米出荷量	4,122俵	5,133俵	11,520俵



## ◇取組活動実践事例(新規就農者支援)

### ・新規就農者の支援

#### 概要

新規就農希望者に対して、行政、全農、JA、産地が一体となり、「JA全農いちご研修施設」「JAインターンシップ制度」を紹介し審査を経て、採用されれば約1年間栽培技術の指導研修を受講することが出来る。研修期間中は、就農に向け地域農家の紹介、農地の確保、補助金を利用した施設・機械の導入をJAがサポート。就農後は産地の後継者として各部会に属し、既存会員とともに共選出荷を行い産地の後継者として活躍している。

JAは、就農後品目担当による栽培技術指導と専任担当による経営指導(記帳代行)を実施し、自立した経営者となるよう支援を行っている。

近年「いちご」に関しては、新規就農者による「青年部組織」が立ち上がり、消費宣伝活動や企画外品の有効利用(6次産業化)に取り組んでいる。

	21年	22年	23年	24年	25年	26年 予定
JA全農いちご 研修施設	2	4	3	2	4	3
インターンシップ	-	2	2	1	1	1
合計	2	6	5	3	5	4

JAぎふインターンシップ制度  
研修生は、受入農家の元(希望品目)で栽培研修を体験し、その期間はJAぎふの臨時職員として、給与10万円/月が支払われます



## ◇取組活動実践事例(園芸塾・野菜専門塾)

### ・園芸塾(H24実績)

#### 内容

多様な農業者の育成および「地域農業」の実情を踏まえ、地域に適した品目・ニーズに沿った栽培講習会を開催

#### 実績

6会場で開催(岐阜市4会場、本巣市1会場、瑞穂市1会場)  
参加者112名(うち農業後継者として6名が産直出荷者となる)



### ・野菜専門塾(H24実績)

#### 内容

管内農作物の重点品目(えだまめ・ブロッコリー・さといも・はくさい・きゃべつ・たまねぎ・スイートコーン・アスパラ)の生産拡大・販売拡大を目的として栽培講習会を開催

#### 実績

4品目について合計21回の開催を実施(うち農業後継者5名、就農予定者1名)



## ◇取組活動実践事例(組合員利用者還元)

### ・出荷奨励金(平成25年8月実績)

#### 内容

JA事業の根幹ある販売事業を支える農産物出荷者(生産組合等)及び産直施設利用者に対し奨励金を支出することにより、遊休農地の解消や出荷販売組織の強化を図ることを目的

対象者 89組織(生産組合等57組織、産直施設利用者組織32組織)

奨励金額 2,000万円

農産物出荷生産組合等 1,350万円(販売高実績按分割80%、販売高増加額実績按分割20%)

産直施設利用者団体等 650万円(売上高実績按分割60%、売上増加額実績按分20%及び  
出荷者数按分割10%、出荷者数増加按分割10%)

### ・農業資材購入に対する利益還元(平成25年3月実績)

#### 内容

農業資材「肥料」「農薬」「保温資材の一部」購入者(平成24年1月～12月までの購入で、購入金額1万円以上の方)に対し、予約注文購入額の3.5%、窓口供給金額の2.0%を還元

対象者 12,715名

奨励金額 38,449,513円(予約購買品供給高の3.5%、窓口供給高の2.0%)

